鎌倉支援学校だより

第11号
令和６年３月13日

もうすぐ新しい春がやってきます。

校長　佐藤元治

穏やかな春の日差しがきらきらと輝く季節になってきました。日本では旧暦３月を『弥生（やよい）』と呼びますが、弥生（やよい）という言葉の由来は、「草木がいよいよ生い茂る月」という意味の「木草（きくさ）弥（い）や生（お）ひ茂る月（づき）」が詰まって「やよい」になったようです。

桜が咲き誇った春から季節は巡り、夏の太陽、秋の実り、冷たい風に耐えた冬、そして暖かく万物が成長する新たな春がもうすぐそこまで来ています。

みなさんは養護学校から支援学校へと名前が変わって、新たなステージが始まったここ鎌倉支援学校で、春・夏・秋・冬と過ごしてきましたね。「うれしかったり」、「かなしかったり」、「たのしかったり」、「くやしかったり」いろいろなことがあったと思います。そんな気持ちをたくさん経験しながら色々なことを学んできましたね。一生懸命がんばったことやコツコツと毎日続けてきたことは、みなさんひとりひとりの力になり、これからの自信につながっていくはずです。

高等部３年生はいよいよ卒業です。３年生の皆さんは学校生活のゴールと社会人としてのスタートラインがもうすぐそこにあります。これまでの 18 年間よりこの先の人生の方が長く、今までよりもっと多くの人たちと関わりながら生きていくことになります。自分を大切に、まわりの人たちも大切にこれからも成長していってください。

小学部６年生、中学部３年生も卒業です。４月からは新しい学部でたくさんの先輩や友だちと学校生活を楽しめるよう準備しておきましょうね。

保護者の皆様、地域の皆様、学校を取り巻くたくさんの皆様から、児童生徒のため、学校のために多大なご支援とご協力をいただきました。皆様からの励ましやお力添えをひとりひとりの育ちにつなげられるよう、基本を大切に進めてまいります。これまでに引き続きこれからも鎌倉支援学校を見守ってくださいますよう、よろしくお願いいたします。

小さき花の園（施設訪問）

今年度は、本校の児童生徒と一緒に、遠足や修学旅行へ行く機会がぐんと増えました。普段なかなか会えない仲間や先生に会うことができ、それぞれに実りある時間を過ごしました。また、三人の新しい仲間を迎えました。

東京ディズニーランド

素敵なお土産買いました

藤沢市立秋葉台公園

太陽がサンサンでした

イチゴス横浜

真っ赤な
イチゴ、
たくさん
とりました

音楽の授業

音と光に
うっとり

在宅訪問

今年度は、小学部２名、中学部２名の児童生徒が在宅訪問で学校生活を過ごしました(*^-^*)
５月８日より新型コロナウィルス感染症が５類感染症に移行して、活気を取り戻し始めた鎌倉支援学校！
在宅訪問の児童生徒も、それぞれのペースで所属学年の友だちと繋がり、学校生活に取り組みました♪

スクーリング
朝の会や図工…絵具を
しました(^▽^)/

卒業遠足
お祝いカード贈呈式
どるちえさんコンサート
エステ でした(^O^)

卒業制作オルゴールの箱作り
粘土と絵の具をこねこね…
こね、手型もぺったん(*^▽^*)

双方向通 Google Meet
年明け恒例！鼓楽座さんのお囃子
お獅子もカプリと登場(≧▽≦)